

## 第 15 期 事業報告

(2019 年 11 月 1 日～2020 年 10 月 31 日)

### 1. 会員加入状況報告

2020 年 12 月 19 日現在の会員加入状況は表 1 の通りである。

表 1：会員加盟状況

区分	第 15 期会員数	第 14 期会員数
正会員（個人）	22	18
正会員（団体）	5	6
賛助会員（個人）	2	1
賛助会員(団体)	7	7

### 2. 事業結果

#### 1) 受託事業

第 15 期の事業収益は、新たに e ラーニング教員免許状更新講習推進機構 (KAGAC) の事務局業務を受託したこと、帝塚山大学および KAGAC より、新型コロナウイルス感染対策の緊急対応業務を受託したことから、収入 58,640 千円、支出 55,321 千円、収支 3,319 千円となり、収入、支出、収支、共に事業計画を上回る見込みである(表 2)。

表 2：事業収支（千円）

区分	事業計画	実績	計画との差異
収入	36,529	58,640	22,111
支出	36,510	55,321	18,811
収支	19	3,319	3,300

収入の内訳は、帝塚山大学からの Moodle 運用保守関連が 17,579 千円うち 6,987 千円が新型コロナ緊急対応、KAGAC からの事務局業務関連が 21,232 千円うち 4,411 千円が新型コロナによる受講者増加によるもの、その他機関からの開発委託が 18,505 千円となっている。また、顧客別収入は、帝塚山大学が全体の 30%、KAGAC が 37%、その他の組織が 32.5%となっている(図 1)。

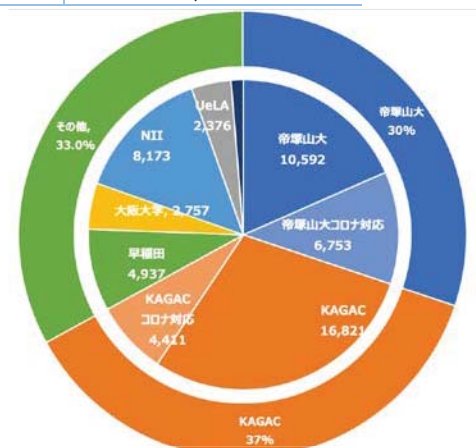


図 1：事業収入内訳

## 2) 研究・開発

---

第15期については、国立情報学研究所(NII)、大阪大学、早稲田大学からの科研費等の資金に基づく、開発を受託し、当法人で開発してきた CHiLO Book およびマイクロコンテンツの技術を提供することができた。

一方で、当法人附置研究所による科研費等の外部競争的資金の採択には至らなかった。

## 3. 事業結果詳細

### 1. インターネットを活用した教育機関の教育連携を実現する支援事業

---

主に、帝塚山大学に対する、eラーニングシステム運用保守、KAGAC に対する事務局業務支援をおこなった。

#### (1) 帝塚山大学

帝塚山大学との契約について、2020年度は、従来の人的支援も含めた学内eラーニング全般の運用支援契約は終了し、eラーニングシステム(Moodle)を提供するのみの契約となった。一方で、新型コロナウイルス感染対応策として、Moodle へのオンデマンドビデオ配信システム(Vimeo)、Zoom 等の追加、それら運用保守等が発生した。

また、今期については、2019年度11月～3月までの7ヶ月間の旧契約も組み込まれたため、全体として、17,169千円となった。

#### (2) KAGAC

2020年2月よりKAGACの事務局業務支援を実施することとなった。KAGACは東京学芸大学、愛知教育大学、大阪教育大学、公立千歳科学技術大学の連携による、eラーニングによる教員免許状更新講習事業である。

KAGACより提示された当初計画では、利用登録者4,500名、受講者4,000名であったが、新型コロナウイルス感染対策により、KAGAC連携校の対面講習が中止されたため、利用登録者は約9,000名、受講者は約7,000名となり、追加契約を行い、全体として、21,232千円となった。

### 2. eラーニングのためのコンテンツ・ソフトウェアの制作と流通を促進する事業

---

KAGAC 関連教材の制作、早稲田大学からの科研費研究による教材制作をおこなった。

#### (1) KAGAC 関連教材制作

創価大学、大阪教育大学、愛知教育大学のKAGACで提供されるeラーニング教材をCHiLO Bookで制作した。

## (2) 早稲田大学 IBS コンテンツ作成

科研費テーマ「過敏性腸症候群を不安モデル症例とした新しい注意バイアス修正法」(研究代表者:北海道大学 河原 純一郎教授)で用いられる eラーニング教材を, 研究分担者である, 早稲田大学 田山淳准教授を支援し, 開発した. また, Moodle を構築し, 開発した eラーニング教材を提供した.

## 3. eラーニングを活用した教育手法の調査研究事業

---

主に研究開発支援として, NII および大阪大学にマイクロコンテンツシステムを提供した.

### (1) マイクロコンテンツシステム

マイクロコンテンツシステムは, 教材をトピック毎に分割し 1 冊の電子書籍に構成するコンテンツカプセル化技術を用いた Web システムで, YouTube や Vimeo 等の動画を取り込んで, CHiLO Book を制作する Web システムである.

従来の CHiLO Book の, 作成ツールをダウンロードしなければいけない, 第三者とのトピック(ページ)の共有ができないと言った課題を, データベースと Web を用いることで解決している. また, LTI(Learning Tools Interoperability)の技術により, Moodle, BlackBoard, Canvas, Google Classroom などの LTI 準拠の LMS に簡単に実装することができる.

第 15 期では, このマイクロコンテンツシステムを NII の学認 LMS および, 大阪大学 Society 5.0 実現化研究拠点支援事業に提供した.

### (2) 競争的資金の獲得

- 令和 2(2020)年度獲得なし
- 令和 3(2021)年度 科研基盤研究 B 堀 真寿美 申請中  
研究課題: エージェントと OER を用いたオープンオンライン教育のための教育基盤の構築  
申請額: 19,870 千円
- 令和 3(2021)年度 科研基盤研究 B 小野 成志 申請中  
研究課題: 学ぶことが貧困を救う学習経済モデルに基づいた学習支援システムの開発  
申請額: 19,798 千円

### (3) 発表論文等

Hori, M., Ono, S., Miyashita, K., Kita, T., & Terano, T. (2020). Toward Sustainable Learning Economy through a Block-chain based Management System. In CSEU (2) (pp. 430-437).

堀真寿美, 小野成志, 宮下健輔, 坂下秀, & 喜多敏博. (2019). スマートなコンピテンシーマネジメントシステムの提案. インターネットと運用技術シンポジウム論文集, 2019, 106-107.

## 4. 連携, 助言または援助の活動事業

---

主に大学 eラーニング協議会(UeLA)に対し事務局業務支援をおこなった.

## (1) UeLA 事務局業務

UeLA の事務局業務として、フォーラム開催支援、ホームページ構築、共通基盤教材の整備等を行った。

## (2) シンポジウム開催

### ● TIES シンポジウム 2019

テ ー マ 『EdTech と教育』 -ブロックチェーンが拓く Society 5.0 の学び-

日 時 12 月 21 日 (土) 13:30～18:20

会 場 国立情報学研究所 12 階 1208・1210 会議室

主 催 NPO 法人 CCC-TIES

後 援 ・文部科学省  
・大学 e ラーニング協議会  
・日本 IMS 協会  
・CAUA  
・帝塚山大学

講 演 者 ・山地 一禎 (国立情報学研究所 教授)  
・佐藤 昌宏 (デジタルハリウッド大学大学院 教授)  
・高橋 恒樹 (株式会社ソニー・グローバルエデュケーション 中長期企画部)  
・秦 隆博 (株式会社デジタル・ナレッジ 高度技術担当 執行役員)  
・高橋 翔太 (LasTrust 株式会社 取締役 CTO)

以上